



《学校教育目標》
『笑顔で 元気な 東っ子』

- ☆進んで学習
- ☆自分も友達も大切に
- ☆心と体を鍛えて何事にもチャレンジ



山東小HP

令和8年7月2日 文責 校長 山口 浩史

安心・安全な環境はみんなで作ります。また、対応を常にアップデートする必要があります。①

2025年5月8日の午後、東京都の公立小学校に、2人の男が侵入しました。2人の男は教室や職員室に押し入り、窓ガラスを割ったり職員に暴行したりする事件が発生しました。

事件が発生した際、児童は教職員の指示で教室を施錠し、机や椅子でバリケードを作って身を守ったそうです。

山代東小学校も5月26日に不審者対応の避難訓練を行いました。そして、東京都の事件を受けて教室を施錠し不審者が確保されるまで身を隠すという訓練方法を取り入れました。これまではすぐに体育館へ避難する方法をとっていましたが、避難中に不審者に危害を加えられる可能性を考えて初めてこの取り組みを行いました。職員と児童が様々な避難パターンを身に付ける必要があると考えたからです。



児童の安全確保のためにアップデートしたいこと②

放課後の児童への対応について、保護者のみなさんと共有したいことがあります。

放課後の過ごし方についてのお願い

保護者の皆様へ。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本校では児童が安全に放課後を過ごせるよう、次のようなことを大切に考え、保護者の方に説明をしています。

- ・下校のあいさつの後は、すぐに帰宅する。
- ・ご家庭の事情で帰宅できない場合は、放課後児童クラブを利用する。
- ・児童の下校後は教室を施錠する。

しかし、実際のところ、低学年の児童が教室で上学年の兄妹を待っていたり、玄関付近で過ごしたりする様子が見られます。

これらは、一見安心できるようにも感じられますが、実は次のような心配があります。

- ・放課後の校内では、常に大人の目が行き届くとは限らず、安全確保のための見守りが十分に行えない時間が生じてしまいます。
- ・玄関付近は車が入り出る場所に近く、思わぬ事故につながる可能性があります。
- ・走ったり遊んだりする中で、けがにつながる恐れがあります。

また、放課後の時間は、教職員が次の日の授業の準備や子どもたちの学びをよりよいものにするための研修を行うなど大切な時間でもあります。この時間が十分に確保できない場合、結果として子どもたちの学習活動に影響することもあります。

「学校に先生がいる時間は見てもらえるのでは」と思われる保護者の方もいらっしゃると思いますが、放課後は常時見守る体制が整っているわけではなく、安全面の保証が難しいのが現状です。出張等で複数の職員が学校にいない日も多いです。

つきましては、お子様の安全を守るために、改めてご家庭でも次の点について話し合ってくださいと幸いです。

- ・ 下校後はできるだけ寄り道をせずに帰宅する。
- ・ ご家庭の事情で帰宅できない場合は、放課後児童クラブを利用する。
- ・ 学校で兄弟を待つような過ごし方は控える。

今後子どもたちが安心して毎日を過ごせるよう、学校とご家庭とで見守っていければと思っています。今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和9年4月1日に開校する「山代小学校」へつなぐ取り組みを紹介します。

山代小学校へつなげるため、山代西小学校の児童との交流事業を充実させています。児童同士が



ながらすることは山代小学校での生活を気持ちよくスタートさせるための大事なことの1つです。

6月26日(金)は、5年生と6年生が交流活動を行いました。

6年生は「ムシムシ教室の席がえ」というゲームを行いました。自分だけしか知らない情報を相手に上手に伝えないと席がえが完成しないというゲームです。コミュニケーションが必要になります。

5年生は、与えられたお題(電子黒板に映し出された生き物や楽器など)をタブレットで検索し、名前をつきとめる活



動です。これもコミュニケーションが必要です。

最初は緊張感が漂っていましたが活動が進むにつれ、それぞれの教室から大きな笑い声が響いてきました。見ている方もわくわくしました。

※山代小学校の校歌の歌詞が決まりました。先日の、山代の教育を考える会で承認されました。曲を付ける段階で歌詞が変更になる可能性もあるため、まだ歌詞そのものは表に出すことはできないそうです。どんな校歌になるのか楽しみにしてください。